

広報やまと

5月号
2010 No.209

紙面一新!
フルカラー記念号

public information contents

- 02 特集 平成 22 年度施政方針
- 06 特集 平成 22 年度予算
- 08 topic 新一年生入学おめでとう他
- 09 topic 全郡議員大会を本村で開催他
- 10 info 校歌・校章の募集
- 11 info 大和村誌を発行しました
- 12 info 子ども医療費完全無料化他
- 13 column しゅぎわ(海辺)を歩こう他
- 14 column 野山の旬他

ウミガメの産卵期を迎えた国直海岸

平成二十二年度 村政に対する所信



私は、昨年の任期満了における村長選挙におきまして、多くの皆様方のご理解・ご支援をいただき、初当選の栄誉を賜りました。誠に光栄に存じますと共に、心から感謝を申し上げます。

就任以来、半年間にわたり、村政の重責を担わせていただいておりましたが、平成21年度につきましては各施策が執行半ばの状況であります。このため、必要な事柄につきましては、補正予算を編成するなどして、所期の目的を達成すべく努めてまいりました結果、それぞれ計画どおりに事業を執行することができました。これも議会の皆様を始め、村民の皆様

方のご指導とご協力の賜と衷心から感謝を申し上げます。

本定例会に初の当初予算を提案するに当たり、与えられた職責の重大さに改めて身の引き締まる思いであります。これから任期中、村民の皆様の負託に応えるべく村民の福祉向上と大和村の更なる発展のため、全身全霊を傾注してまいるべく決意を新たにしているところでございます。

本日ここに、平成22年度の予算並びに諸議案をご審議いただくにあたり、村政に対する所信を明らかにするとともに、主要施策と予算の概要を申し上げまして、一般会計並びに各特別会計予算の提案理由とさせて

頂きますので、議会並びに村民各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まず、本村を取り巻く財政状況について申し上げます。

本村の財政運営に大きな影響を与える国の予算は、「コンクリートから人へ」、「新しい公共」、「未来への責任」、「地域主権」、「経済成長と財政規律の両立」の基本理念のもとで、国民の暮らしの豊かさに力点を置いた経済・社会への転換等の観点から、特に子育て、雇用、環境、科学・技術の分野に力点を置いて編成されています。

その結果、平成22年度の国の一般会計予算の規模は、92兆2,992億円で対前年度比4・2%の増額予算となっています。

平成22年度の地方財政は、個人所得の大額な減少や企業収益の急激な悪化等により、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が引き続き落ち込む一方、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移すること等により、定数削減や人事政策による公債費の減少、地方交付税の増額が見込まれるなど、好転の兆しがあるようにも見えますが、依然として本村の財政運営は厳しい状況にあります。

鹿児島県においては、非常事態ともいいくべき危機的な財政状況を踏まえ、平成17年3月に策定した「県政刷新大綱」に基づき、財源不足額の縮小に努めてきましたが、依然として多額の財源不足が生じている現状

であります。

このような状況を踏まえ、行財政構造改革に引き続き取り組むとともに、更に踏み込んだ、「歳入・歳出両面にわたる徹底した見直しを行う」としております。

本村は、県同様に厳しい財政状況ではありますが、これまで、「自然と共生し、安心して住みよい村づくり」を基本理念とした、「大和村第四次後期総合振興計画」や各種計画を参考に、諸施策を推進して参りました。

しかし、約90%を依存財源に頼らなければならぬ状況下であるため、構造的な財源不足は続くものと考えられますので、予算編成においては、本村の地方財政対策について的確に判断していく必要があります。

平成22年度の財政状況は、公債費の減少、地方交付税の増額が見込まれるなど、好転の兆しがあるようにも見えますが、依然として本村の財政運営は厳しい状況にあります。

このように限られた財源のなかで行政サービスを維持しつつ、村民の福祉の向上を図ることを理念に、効率的な行政を進めるため

- 1 行財政改革の推進による健全財政の確立
- 2 定住促進、産業の振興による地域の活性化
- 3 少子高齢化に対応した地域社会の推進

4 道路交通網、情報通信体系、生活環境の整備

5 人材育成・社会教育・学校教育環境整備の推進

6 自然と共生し、生き生き、安心安全な住みよいむらづくり

以上、6つの基本方針を定め予算編成を行いました。

次に、予算の概要について申し上げます。

一般会計の予算総額は、前年度当初対比で7・4%、1億9千208万5千円減の、24億555万円となりました。

主な内容といたしまして、歳入におきましては、地方交付税等の増額が見込まれますが、国庫支出金、繰入金、村債等の減額により、歳入総額は減額となりました。

歳出におきましては、道路、漁港等の整備を含む普通建設事業費に約4億4千446万円を計上いたしました。

また、村民に身近な生活基盤の整備や扶助費等については財政上可能な限り取り入れる一方、経常経費の抑制に努め、財源の効率的な配分に努めました。

次に基本方針実現のための主要施策について申し上げます。

- 1 まず1点目は、行財政改革の推進による健全財政の確立であります。ここ数年の起債の繰上償還の実施等により、平成22年度以降、公債費は減少が見込まれるもの、道路・漁



を注視しながら、補助事業を優先するほか、村債についても辺地債や過疎債など、できるだけ有利な起債を導入し後年度負担の抑制に努めます。

歳出については、経費の節減合理化を図り、消費的経費の抑制に努め、特に人件費については、定員適正化計画を基本に抑制に努めます。

また、行政事務については電算システム等の有効活用を図るとともに、広報やまとや防災行政無線等による広報活動、ホームページの充実等を図り情報を発信して参ります。

2 次に、定住促進、産業の振興による地域の活性化であります。

定住促進策につきましては

① 高校生通学バスの全額助成はじめ、出産祝金、育児助成金、新築住宅助成金、里親助成金等の交付を引き続き行うと共に、地元企業の育成による雇用促進対策を推進して参ります。

② 村全域の里親助成制度についての周知に努めます。

産業振興において、農業の振興につきましては

① 主要作物である、スモモ・タンカン・インゲン等については、土づくりのため、引き続きフレコン堆肥購入に対する助成、肥料高騰対策として肥料購入に対する助成や、バクチ原料の確保を行い、果樹、野菜園芸等の生産拡大を支援します。また、苗木購入助成等についても引き続き実施致します。

1 まず1点目は、行財政改革の推進による健全財政の確立であります。ここ数年の起債の繰上償還の実施等により、平成22年度以降、公債費は減少が見込まれるもの、道路・漁

また、鳥獣被害対策として、カラス捕獲事業も継続して実施いたします。

② 地場消費の拡大や产地育成を図るとともに、「地産地消」を推進し本村の農業振興に努め、併せて産業振興や地域活性化のため、名瀬中央青果市場への集出荷委託事業を実施いたします。

③ 農業・農村活性化推進施設等整備事業を導入し、継続してスマモ園の改植を実施し生産拡大を図ります。また、農作業受託班に助成を行い農家の作業の省力化に対応いたします。

④ 遊休農地等の有効活用対策の一環として、農家台帳の整備を行い、農地流動化を推進いたします。

⑤ 農地・水・農村環境保全向上活動事業を導入し、地域住民、関係団体の協力を得て、農地の整備や水質改善等の活動を行っていきます。



- 体等の協力により農業用施設の維持管理を、地域ぐるみで効果的な共同作業を行うための支援をいたします。
- 林業の振興につきましては
- ① 流域育成林整備事業を継続実施し、育成複層林整備を行います。
 - ② 農林作物に被害を及ぼしている、イノシシ等の有害鳥獣捕獲事業を引き続き実施いたします。
 - ③ 松くい虫防除事業を引き続き実施致します。
- 水産業の振興につきましては
- ① オニヒトデ駆除対策事業を導入し、漁場の保全及び水産業振興に努めます。また、浮魚礁設置経費の助成を行います。
 - ② 離島漁業再生支援交付金・推進事業を継続実施し、漁場生産力の向上、海域環境の保全・国境監視等多面的機能の維持増進を図ります。
 - ③ 今里漁港漁村再生交付金事業により、港内静穩度を高めるために、防波堤改良や護岸改良等を行います。
- 商工業及び観光の振興については
- ① 村内の商店は、村外消費の増加などにより厳しい経営状況にあるため、奄美商工会へ助成を行い、商工会による経営改善普及指導等を推進します。
 - ② 青年団主催のひらとみ祭りについては、引き続き経費の助成と開催準備の支援を行います。
 - ③ 奄美フォレストポリスの公園管理については、指定管理者の経営改善、経費の節減、雇用の確保、利用者のサービス向上に努めます。



④ アマミノクロウサギ等の希少野生生物の保護意識の普及啓発に努めると共に、観光案内板を設置するなど村のPRを図ります。

3 次に少子高齢化に対応した地域の推進についてであります。

子どもを生み育てやすい社会環境の整備、高齢者をはじめとした、すべての村民が安心して、生きがいのある生活を送るには、健康が大切であります。そのため、少子化対策や村民の健康管理の支援を行います。

- ① 少子化対策は重要な課題であります。引き続き延長保育や土曜保育を実施すると共に、村単独の育児助成金を支給するなど子育て支援を充実します。
- ② 現行、乳幼児のみの医療費助成を中学校卒業時まで無料化し、子育て支援を充実します。
- ③ 診療所をはじめ保健所や健康づくりセンターなど関係機関と連携して、保健予防事業による各種検診率の向上を図るとともに、健康教育及び訪問指導の強化や個人レベルでの健康づくりの意識の高揚と、健康増進をサポートできる環境づくりに努めます。

- ④ 介護保険制度は、介護給付費の約65%を施設介護利用者が占め保険者負担の増となっている状況にあります。包括支援センターを中心に、在宅福祉の充実を図ると共に、高齢者運動機能向上対策事業を強化し、介護予防を積極的に推進していきます。
- ⑤ 在宅ねたきり老人等を介護している方への介護手当を増額し、在宅福祉の充実を図ります。
- ⑥ 介護支援事業所・国保・大和診療所と連携を密にしながら、訪問指導や健康相談等を充実し、個々の健康意識を高め医療費の抑制に努めます。また、社会福祉協議会への補助金を増額し、連携を図ることで在宅訪問サービス等の充実を図ります。

- 4 次に道路交通網、情報通信体系、生活環境の整備についてであります。
- 生活の基盤である道路交通網や防災行政に必要不可欠な情報通信体系、集落内の生活環境の整備等については、本村の活性化に最も重要な社会基盤であるため、更に整備の促進を図ります。
- 道路交通網については
- ① 本村の農業拠点である福元地区や奄美フォレストポリスへのアクセス道路である、村道大棚名音線改良事業を継続実施し早期完成を目指します。
 - ② 村道の改良舗装を実施するなどして交通の安全性を高めます。
 - ③ 村道等の除草や路面補修等を行い、村道の維持補修に努めます。





- ④ 主要地方道・名瀬瀬戸内線は、救急搬送や通勤通学に村民の生活路線として重要な路線でありますので、トンネルの整備など、大和・名瀬間のフルット化を目指した取り組みを引き続き行つてまいります。
- 情報通信体系については
- ① 2011年のテレビの地上波デジタル放送移行に伴う、中継局整備及び共同受信施設の整備について、関係機関と連携し対応していきます。
- ② 防災行政無線施設のデジタル化整備に併せて村の防災情報やエリアメールの配信を行うと共に、携帯電話の不感区域の解消について関係機関と連携し対応するなど、防災行政の向上に努めます。

生活環境の整備について

「村づくりの基本は、人づくりから」を基本に、教育環境の整備や人間性豊かな人づくりに努めて参ります。

① 公民館においては、いつでも自由に生涯学習の機会が選択できるよう、公民館講座を引き続き開講し、村民に親しまれるような公民館づくりに努めます。

② 子どもたちに好評である「大和つ子スクール」を引き続き実施し、児童・生徒の体験活動を支援するとともに青少年健全育成を推進します。

③ 村民が参加できるスポーツ等のイベントを継続実施し、村民の健康増進に努めます。

④ 村の将来を担う子どもたちの教育環境の充実を図ると共に、平成23教

5 次に、人材育成・社会教育・学校教育環境整備の推進についてであります。

- ① 環境保全の観点から、生活排水対策として西部地区の農業集落排水事業の加入促進に努めるとともに、東部地区の事業の早期導入に向けて努力して参ります。
- ② 新聞紙や雑誌等の古紙類の分別収集を行い、資源ごみリサイクルの促進を図り、ごみの減量化に努めます。また、環境保全の面から関係機関と連携し、車両の放置防止やごみの不法投棄防止に努めます。
- ③ ヤンバルトサカヤステは、住民に不快感を与える生活上、大きな問題であります。引き続き一部有料により駆除用薬品を配布し駆除に努めます。



- 以上、村政の基本方針と主要施策の概要を申し上げました。
- 平成22年度も厳しい財政ではありますが、新しい時代に向けての確かな第一歩の年にするべく、これを効率的に執行し、所期の目的を達成するため、全職員一丸となつて努力し、村民とともに夢を持ち、自然にやさしい、明るく心豊かなまほろば大和の創造を目指したいと考えております。
- 今後とも、村政運営に全身全霊を傾けて取り組んでまいりますので、村議会並びに村民の皆様のさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして、施政方針といたします。

年度に統合する新設中学校の開校に向けて準備を進めて参ります。

⑤ 学力対策協議会への助成を引き続き行い、基礎学力の確実な定着や教職員の資質向上、児童生徒の体験活動による、生きる力の育成、確かな学力の向上に努めます。

また、平成23年度から小学校において外国語教育が必修化されることになります。そこで、引き続きALTを配置いたしました。

今後とも、村政運営に全身全霊を傾けて取り組んでまいりますので、村議会並びに村民の皆様のさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして、施政方針といたします。

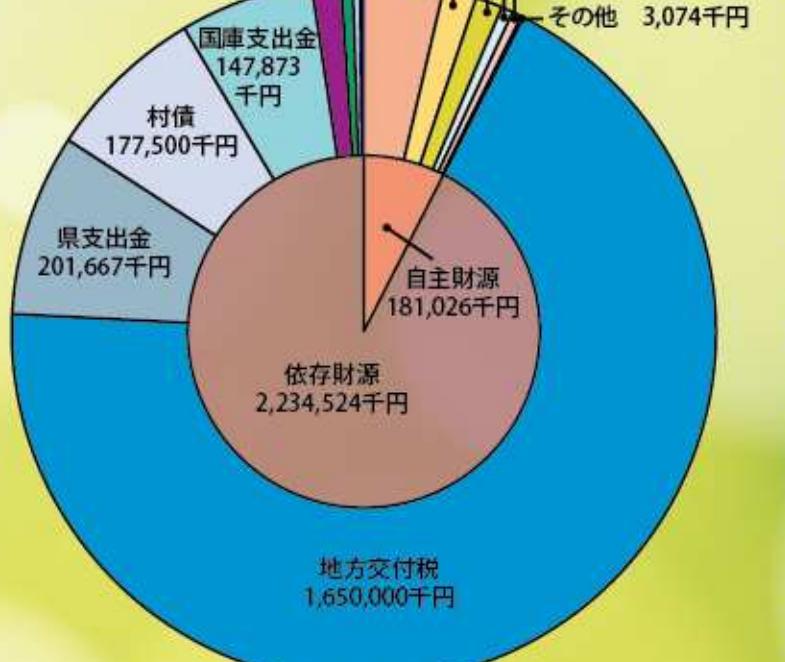
① 奄美野生生物保護センターや奄美自然体験活動推進協議会等と連携

歳入歳出 2,415,550千円

「行財政改革の推進による健全再生の確立のために」

■歳入予算内訳

その他	1,057千円
地方特例交付金	2,960千円
自動車取得税交付金	8,259千円
地方消費税交付金	12,635千円
地方譲与税	32,573千円



歳入合計 2,415,550 千円

自主財源 村税など村が独自に調達するお金
依存財源 国や県から村に入るお金

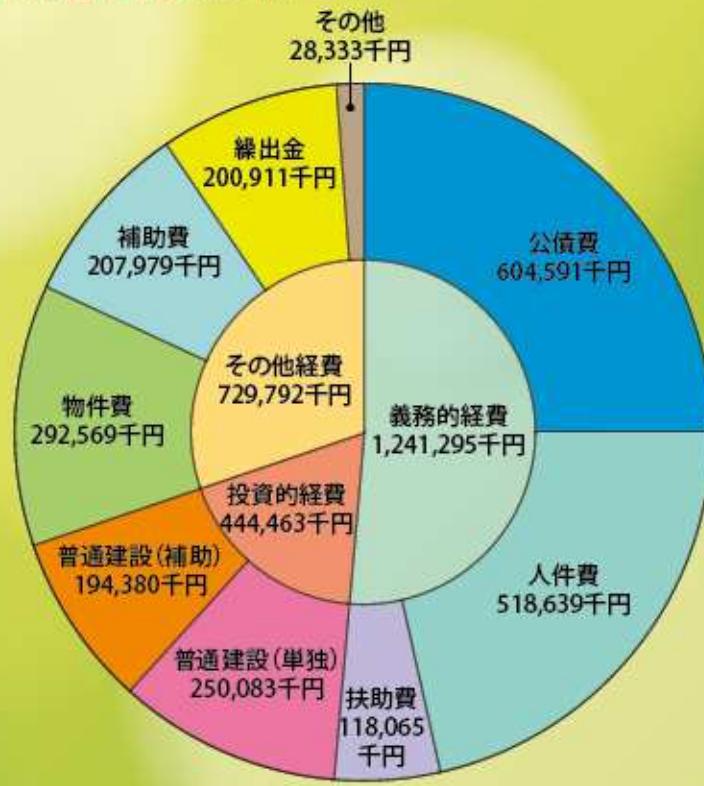
村 稅 住民税や固定資産税などのお金
使 用 料 施設の使用料などのお金
諸 収 入 預金利子など
財 産 収 入 財産の貸し付けや売却による収入
繰 越 金 前年度からの持ち越したお金

地方交付税 村の状況に応じて国から貰うお金
県 支 出 金 事業を行うために県から貰うお金
村 債 村が借り入れたお金
国 庫 支 出 金 事業を行うために国から貰うお金
地 方 譲 与 税 国から分配されるお金
各 種 交 付 金 国から分配されるお金

一般会計歳入

歳入の中心を占める地方交付税が9千万円の増、自主財源では繰入金が実質的な財源不足の解消により8千3百万円の減となり、自主財源比率は7.5%と昨年と比べ2.7%減少しました。

■歳出予算性質別内訳



歳出合計 2,415,550 千円

義務的経費 任意に削除できない経費
投資的経費 支出の効果が将来に残る経費
その他の経費 義務的経費と投資的経費以外の経費

公 債 費 借金の返済のための経費
人 件 費 職員給与や議員報酬など
扶 助 費 法律に基づく福祉的経費
単独普通建設 村が単独で行う投資的経費
補助普通建設 国からの補助を受けて行う投資的経費
物 件 費 消耗品などの消費的経費
補 助 費 各種団体へ負担や補助する経費
繰 出 金 特別会計へ出す経費

一般会計歳出

義務的経費においては公債費が昨今の新規発行地方債の抑制や繰上償還の実施により、1億7百514千円の減、投資的経費は防災行政無線整備事業の終了などにより1億1百590千円の減、繰出金は特別会計の公債費の増により3千74千円の増となりました。

平成 22 年度一般会計当初予算

目的別歳出内訳と主な事業

区分と内容		主な事業と予算額(千円)	全体に占める割合と前年比	
総務費	役場を運営するための全般的な経費など	共同受信施設地デジ改修助成金 高校生通学バス助成金 里親助成金 緊急雇用創出事業（道路維持賃金等）	1,000 18,840 1,800 18,820	15.4% ↑ 23,315
		合 計	371,847	
		敬老年金 高齢者バス賃 在宅寝たきり老人等介護手当 育児助成金 子ども手当（児童手当）	8,256 3,000 2,520 4,200 23,030	13.3% ↑ 1,807
		合 計	371,847	
民生費	福祉や社会保障のための経費	子ども医療費（中学生以下）	1,859	8.1% ↓ 176
衛生費	健康診断やゴミ処理のための経費	合 計	371,847	
		堆肥助成金 県営農地環境整備事業（湯湾釜・津名久） 流域育成林整備事業（複層林改良） 看板作成委託（村案内看板） 松食い虫防除事業 浮漁礁設置助成金 離島漁業再生交付金事業 今里漁港再生交付金事業（波消ブロックなど）	1,800 5,000 4,620 2,050 12,747 1,500 3,666 140,200	10.7% ↓ 15,926
農林水産業費	農業・林業・水産業振興のための経費	合 計	258,242	
		ひらとみ祭り補助金	1,500	0.3% ↓ 15,926
		合 計	6,785	
		村道大棚名音線改良事業（橋りょうなど） 村道改良事業（川平線・清川線） 村営住宅建設事業	100,182 100,100 20,100	11.7% ↓ 23,851
商工費	商工業や観光振興のための経費	合 計	282,068	
		ひらとみ祭り補助金	1,500	0.3% ↓ 15,926
土木費	道路や河川の整備などに使われる経費	合 計	6,785	
		村道大棚名音線改良事業（橋りょうなど） 村道改良事業（川平線・清川線） 村営住宅建設事業	100,182 100,100 20,100	11.7% ↓ 23,851
		合 計	282,068	
教育費	小中学校や社会教育などに使われる経費	学校統合事業（教員宿舎建設他） 高倉補修（大和浜群倉）	51,355 2,000	8.9% ↑ 34,092
		合 計	213,916	
		元金 利子	521,864 82,727	25.0% ↓ 107,514
公債費	借金の返済のための経費	合 計	604,591	
		議会費 消防費 予備費他	56,174 94,556 9,333	6.6% ↓ 104,114
		合 計	160,063	
その他	議会の運営や消防、防災活動などに使われる経費	合 計	2,414,440	100% ↓ 192,085
		合 計	2,414,440	100% ↓ 192,085

平成 22 年度と区別会計予算額

会計区分	予算額	一般会計と特別会計を合わせると
簡易水道事業	68,325,000 円	合計 3,397,583,000 円
国民健康保健	301,409,000 円	村民一人あたり 1,917,372 円
大和診療所	86,297,000 円	成人一人あたり 2,289,476 円
老人保健	469,000 円	一世帯あたり 3,770,902 円
介護保険	274,233,000 円	
大和の園	187,379,000 円	
集落排水事業	38,375,000 円	
後期高齢者医療	25,546,000 円	

新一年生入学おめでとう！

大和小学校（入学生7名）



大和小学校（入学生6名）



今里小学校（入学生1名）



名音小学校（入学生1名）



4月6日、村内の小学校4校で入学式が行われ15名の新1年生が仲間入りしました。毎日元気に登校していますので、地域のみなさんの見守りと声掛けをよろしくお願いします。

A級優勝の大和Aチーム



全員で魚をさばく参加者たち



珍プレー好プレーに歓声

第51回春季ナイトソフトボール大会（大和村ソフトボール連盟主催）が4月20日から28日まで大和小中学校校庭にて開催されました。

大会は各集落から10チームが参加し、珍プレーや好プレーに爆笑と歓声があがるなか、選手、観戦者一体となって親睦を深めました。

なお、A級は大和Aチームが3年連続の優勝を果たし、最優秀選手にエースの杉島勇選手が選出され、B級では今里チームが3年ぶりの優勝を果たし、最優秀選手には山下宗範選手が選出されました。

5月2日日曜日、大和村で第17回ファミリー釣り大会（大和村年頭主催）が開催され、参加者は家族とともに目標当ての場所で釣り糸を垂れ、ゴールデンウィーク恒例の集落行事を楽しみました。

また、環境美化活動に取り組む同大会では、参加者が釣りの合間に海岸清掃を行い、合計で150キロもの漂着ゴミを持ち帰りました。

表彰式を兼ねた反省会では釣り上げられた新鮮な魚が振る舞われ、えらぶち（ブタケ）や、つのまる（テンゲハギ）、うぶす（スマガツオ）といった多種類の海の幸に舌鼓を打ちながら、釣り談義に花を咲かせました。

魚釣りと海岸清掃に汗

第53回奄美群島市町村議会議員大会が5月19日、大和村体育館で開催され、大島郡12市町村から156人の議會議員のほか国会議員、県議会議員、各首長など200人が出席しました。大会では、各地区の議会や議長会から提案された8議題（①地籍調査事業の推進と助成措置の見直し②国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額③離島航路就航船舶の新船建造費補助制度の拡充および交通網整備④徳之島での緊急用ヘリポート設置⑤交付税確保を目的とするサンゴ礁の自治体面積への算入⑥農業年金の制度改革と認定農業者の退職金制度導入⑦離島における消費税撤廃⑧鹿児島地方法務局出張所の存続、すべてが可決された後、奄美共通の最重要課題として米軍普天間基地の徳之島移設反対特別決議が提案され、徳之島3町の議長が登壇し、天城町の叶福次郎議長が、「いかなる規模でも徳之島移設に断固反対」とする決議文を読み上げると盛大な拍手で特別決議が承認されました。

全郡議員大会を本村で開催 米軍基地移設反対特別決議 を採択



また、会場には多くの報道機関が駆けつけ、『時の人』となっている徳之島3町長の周りには幾重にも報道陣の輪ができていました。

重さんは、地元国直で採取したフクギやシャリソバを染料にした草木染めや軽食喫茶のお店、工房てるばーずを経営しています。

重さんの製作するパッチワーカーは、白と黒を基調とした5センチ角のボリューム感のある布地を幾何学的につなぎ合わせたもので、大きいものは5メートル四方にもなる大作です。

今回の作品展は重さんがパッチワーカーを始めた初期の作品41点が展示され、多くの人が重さん独特の作品を鑑賞に訪れました。



「パッチワーカー 重照代の原点」開催

梅雨空の中スモモ（奄美ラム）の収穫が最盛期を迎えています。

4月18日から5月9日まで奄美パクタ中一村記念美術館にて国直在住の重照代さんのパッチワーカー展が開催されました。

24日には湯湾釜果樹選果場で初荷の出発式があり、収穫されたスモモが統括され、Mから4Lのサイズに持ち込まれ、Mから4Lのサイズに選別されたスモモが各市場に出荷されています。

村産業振興課によると、4月下旬からの肥大期には適切な降雨があり順調に生育しているとのことです。



スモモの収穫始まる

写真は総合学習の時間にスモモの収穫を体験した大和中一年生（担当椎原聰教諭）9名の生徒たち。生徒の祖父である神田速さん（大和浜の果樹園で、熟成度や着色状況の指導を受け一つ一つ丁寧に収穫しました。自分たちの手で収穫したスモモはまた違った味がしたことでしょう。

校歌・校章募集

新設「大和村立大和中学校」

皆様からの力作をお待ちしています



- **校歌の歌詞・応募方法**
 - ・400字詰め原稿用紙で応募してください。
 - ・歌詞は3番まで作詞してください。
 - ・地域性が感じられ、明るく希望に満ちたもの。
 - ・心豊かな生徒を育むにふさわしいもの。
 - ・21世紀の学校にふさわしいもの。
- **校章・応募方法**
 - ・応募用紙はA4版の白地の用紙を縦方向に用い、縦15センチ、横15センチの枠を描き、その枠内に黒書きで校章をデザインしてください。（パソコン等使用可）（折目のないよう送付してください）
 - ・デザインの主旨を添えて提出してください。
 - ・白黒画（単色・単彩）とします

- **校歌の歌詞・応募方法**
 - ・校歌は幾年にもわたり歌い続けられ、校章は学校のシンボルとなります。皆様からの力作をお待ちしています。
- **留意事項（共通）**
 - ・応募作品はいずれも、一人につき1作品とします。
 - ・応募用紙の裏面にデザインの簡単な説明と住所、氏名、勤務先、電話番号（児童生徒は学校名、学年、氏名）を必ず記載してください。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります。
 - ・採用された作品の著作権は大和村教育委員会に帰属するものとします。
 - ・応募作品は返却しません。
 - ・著作権に触れないように充分配慮してください。
 - ・作品の著作権などについて、第三者から異議申し立て、苦情などがあつた場合は応募者が対応するものとします。
 - ・採用された作品の使用に当たっては、一部を変更する場合があります。
 - ・応募にあたり御提供いただきました個人情報は、入選作品の発表のためのみ使用します。

- ・選考の結果は、採用された方のみ通知し、採用されなかつた方には通知しません。
- ・応募作品は次の提出先に持参又は郵送してください。

- **提出先**

〒894-13192 鹿児島県大島郡大和村大浜100番地 大和村教育委員会事務局
新設「大和中学校」校歌・校章募集担当
- **募集締切日**

平成22年6月30日（水）17時必着
- **留意事項（共通）**
 - ・応募作品はいずれも、一人につき1作品とします。
 - ・応募用紙の裏面にデザインの簡単な説明と住所、氏名、勤務先、電話番号（児童生徒は学校名、学年、氏名）を必ず記載してください。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります。
 - ・採用された作品の著作権は大和村教育委員会に帰属するものとします。
 - ・応募作品は返却しません。
 - ・著作権に触れないように充分配慮してください。
 - ・作品の著作権などについて、第三者から異議申し立て、苦情などがあつた場合は応募者が対応するものとします。
 - ・採用された作品の使用に当たっては、一部を変更する場合があります。
 - ・応募にあたり御提供いただきました個人情報は、入選作品の発表のためのみ使用します。
- **発表**

広報やまと、大和村生涯学習情報紙、大和村ホームページにてお知らせします。
- **表彰**

採用された方は開校式で表彰します（記念品を贈呈）。
- **選定方法**

学校統合推進本部・学校統合準備検討委員会にて候補を選定し、決定いたします。



新設「大和中学校」校歌校章募集担当
TEL..0997-57-2154（直通）
FAX..0997-57-2271
Eメール..kyoku@vill.yamato.g.jp

大和村誌を刊行いたしました

平成12年に大和村誌編纂委員会が発足し、本誌発刊に向けて資料収集などの作業を進めてきましたが、この間、本誌にさきがけて大和村誌資料集として、平成15年に『大和村の近現代』、平成17年に『大和村の民俗』、平成18年に『大和村の近世』をそれぞれ刊行し、また、平成19年にはこの編纂事業をきっかけに、奄美諸島の第一級史料である大和浜和家の貴重な文書類の寄贈も受けております。

本誌はわかりやすく興味深い叙述のうちに、各分野における高い専門性や最新の成果を盛り込んだ、充実した内容の郷土誌となりました。本誌および資料集が、今後広く活用されていくものと期待します。

■販売価格

3,000円

■送料

実費（着払い）

■連絡先

大和村中央公民館

〒894-13104
鹿児島県大島郡大和村恩勝485番地
TEL：0997-5712311
FAX：0997-5712333
Eメール：kominkan@vill.yamato.lg.jp

村誌 3,000円



第1編 自然と地理
阿部慎太郎（環境省那覇自然環境事務所野生生物課課長補佐）

第1章 位置と地勢
第2章 地質と地史
第3章 気候
第4章 植物
第5章 動物
第6章 大和村の自然

第5編 村政
永野 豊・永田 世史・中山 昭一

第1章 復帰・復興と大和村
第2章 戦後の大和村
第3章 議会・歴代三役
第4章 開発事業・産業
第5章 福祉・医療・衛生
第6章 消防・防災
第7章 交通・公共事業
第8章 教育

第7章 大島紬と藍
禁酒興國運動と奄美

第2編 考古
高梨 修（奄美市立奄美博物館学芸員）

第1章 奄美諸島の考古学的概要
第2章 弥生・古墳時代並行期
第3章 古代の南島
第4章 ヤコウガイ交易
第5章 城久遺跡群とキカイガシマ
第6章 奄美諸島におけるグスク

第6編 民俗
津波 高志（琉球大学法文学部教授）
渡久地 健（琉球大学講師）・琉球大学
法文学部社会人類学教室・今田 良文
(大和村文化財保護審議委員) 中山 昭二

第1章 シマごとの姿
第2章 家族と親族
第3章 郷友会
第4章 人口移動と農業
第5章 大島紬の織り工
第6章 漁業と林業
第7章 サンゴ礁の民俗分類・地名・漁
撈活動
第8章 糸満系漁民の足跡
舟の種類と使い分け
第9章 イモ類と年中儀礼
葬送儀礼の変容
大和村の文化財

第3編 前近代の歴史
平瀬達朗（大和村文化財保護審議委員）・弓削政己（奄美郷土研究会会員）

第1章 「ナハ世」以前の奄美
第2章 ナハ世（琉球王国統治下の奄美）
第3章 藩政時代（1）
第4章 藩政時代（2）
第5章 藩政時代（3）

第4編 近現代の歴史
弓削政己・中山 昭一

第1章 幕末維新の奄美
第2章 行政の変遷と大和村
第3章 近代の社会制度・税制
第4章 砂糖自由売買運動と三方法運動
第5章 笹森儀助と奄美
第6章 津名久焼

県下初!!

子どもの医療費
完全無料化!!



【お問い合わせ先】保健福祉課
TEL..57-2111 (内線64)

昨年度まで6歳未満の乳幼児に医療費助成を行っていましたが、平成22年4月から本村独自の施策として、中学校修了までの児童生徒に対し支払った医療費の全額を助成します。

■助成対象となる子どもは
満15歳になつた最初の3月31日までの間にある子ども。
■助成の額は
支払った医療費の自己負担分全額。
■助成を受けるための手続きは
役場保健福祉課備え付けの申請書に、
てもらい、役場保健福祉課に提出して
ください（申請の際は印鑑・健康保険
証を持参願います）。

子ども手当は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに親等に支給するものです。

■支給対象となる子どもは
中学校修了（満15歳になつた最初の3月31日）までの子ども。

■手当の額は
月額1万3千円です。

■支給を受けるための手続きは
手当の支給を受けるためには、子どもを養育している親等が、住所地の市区町村に申請（認定請求）を行う必要があります。

■添付書類は
健康被保険者証の写し等（請求者がサラリーマン等の場合）の他、必要に応じて提出する書類があります。

【お問い合わせ先】住民税務課
TEL..57-2111 (内線57)

子ども手当が平成22年4月からはじまりました



総合検診のお知らせ



■受付時間
午前7時30分～午前8時30分
■実施場所
大和村体育館
■健診項目
特定健診・胃がん検診・大腸がん検診・腹部エコー検診・肺がん検診・前立腺がん検診・C型肝炎・歯周疾患検診

■ご案内
6月中旬には受診票や詳しい案内等を個別通知いたします。

【お問い合わせ先】保健福祉課
TEL..57-2111 (内線36)

うつとうしい日々が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？梅雨でも、いつでも、爽快と元気はつらつでいたいですね。

では、平成22年度の総合健診の日程をお知らせいたします。

パスポートの申請・交付業務を開始しました

大和村では、県からの権限移譲により、平成22年4月1日からパスポートの申請・交付業務を開始しました。

■申請・交付場所
役場総務企画課

■開催日
7月3日～6日（4日間）

■対象者
大和村へ住民登録をしている方

■取扱時間
月～金曜日（8時30分～17時）

■交付までの所要日数間
申請から約10日間

■申請に必要な書類
①一般旅券発給申請書
②戸籍謄（抄）本
③写真（縦4・5cm×横3・5cm）
※できるだけ写真店で撮影してください

④本人確認のための書類
(運転免許証等)

⑤前回取得した旅券（更新等の時）
⑥住民票抄（謄）本

■手数料

12歳未満	（5年有効）	6,000円
12歳以上	（5年有効）	11,000円
20歳以上	（10年有効）	16,000円

【お問い合わせ先】総務企画課
TEL..57-2111 (内線59)

島

宝

満1歳おめでとう

杉島 大翔さん

保護者・杉島勇さん(大棚)

カメラを向けるとダッシュで走つてきました(速っ!)。足の速さはパパ譲りでしょう。



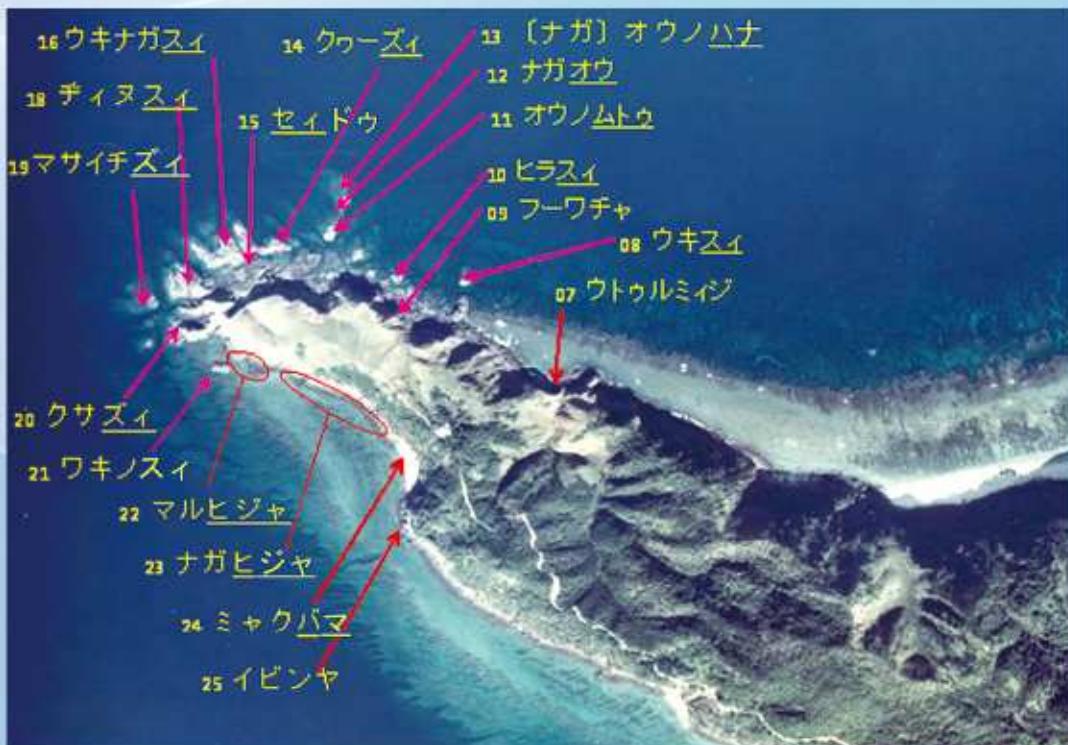
すきしま やまと

さとう せいら

佐藤 星来さん

保護者・佐藤規仁さん(大棚)

撮影が終わるとバイバイと笑顔で手を振ってくれました。優しい子に育ってください。



佐藤 星来さん
保護者・佐藤規仁さん(大棚)
撮影が終わるとバイバイと笑顔で手を振ってくれました。優しい子に育ってください。

今掲載する地図は琉球大学講師の渡久地健先生によつて作成された宮古崎周辺の地図です。

同地図は大和村

誌第六編民族・第七章サンゴ礁の民族分類・地名・漁労活動にも掲載されていますのでどうぞご覧ください。

第一回 宮古崎を歩こう

多様性に富んだ豊かな“しゅぎわ”(海辺)は、長い間人々に利用されるうちに様々な固有名詞がつき言い伝えられてきました。

現在では地図に記載されることもなく、限定的な使用しかされていないこれら地名ですが、その名称には自然条件や人々の暮らしをひとく重要な情報が含まれています。

広報やまとでは、これら忘れられようとしている地名を記録し、地図化しようと考へています。

地名やそれに関する情報がありましたら役場広報誌担当までお気軽にご連絡ください。担当があなたの集落にお伺いいたします。

また、誤った情報の記述があつた際に指摘くだされば幸いです。

今回掲載する地図は琉球大学講師の渡久地健先生によつて作成された宮古崎周辺の地図です。

同地図は大和村

25 イビンヤ(海老ノ家)
岩陰を好むイセエビの住処で同様の地名は数多く存在します

07 ウテイルミズ(落ちる水)
小川(滝)が海に流れ落ちることからこう呼ばれる弓状の暗礁帶で航行の難所です

12 ナガオウ(長泡)

常に波が立ち海中が泡立つていていますか大潮の干潮時には歩いて渡ることができます

16 ウキナガス(沖長瀬)

セイドウ(瀬戸)で陸地と仕切られていますが大潮の干潮時には歩いて渡ることができます

19 マサイチズ(正一・政市?瀬)

マサイチと言う人がこの岩で座礁したことから名付けられました

20 クサズ(草瀬)

岩の頂上付近に草が自生していることからこう呼ばれ隣のジノス(地ノ瀬)には草は生えていません

21 ワキノス(脇瀬)

現在はコンクリートで陸地と繋がり船着き場として利用され沖合はコウイカの産卵場になっています

22 マルヒジャ(丸ヒジャ)

風化した巨石が散在する海岸線で、転石などの続く海岸線を縦じて○○ヒジャと呼び、砂浜や断崖と区別しています

野山の



第一回

梅雨に咲く花・カシャ

梅雨時期に清楚な白い花を咲かせるカシャ（和名・クマタケラン）は、ショウガ科、ハナミョウガ属の多年性常緑草本で人里でもよく見かけることができます。

同じショウガ科のサネン（和名・ゲットウ）が下向きに花を咲かせるのに対し、カシャは花枝を直立させて上向きに開花します。

カシャの写真を撮ろうと元島美和子さん（湯湾釜）の畠におじりますると3mはありそうな立派なカシャが茂っていました。

なんでもカボチャ畑に入れた肥料が効いて大きく育つたとのこと。

お話を伺うと、湯湾釜では節句やムチモレ踊り（※1）などのお祭り等頻繁にカシャムチ（※2）を作つて人々をもてなすので、カシャを大事に育てているとのこと。

一枚葉を摘んで揉むと懐かしい芳香がしました。

※1 ムチモレ踊り

防火と無病息災を祈願して行われる湯湾釜落の伝統行事

※2 カシャムチ

米粉とサツマイモを練った団子を力シャの葉に包んで蒸したお餅



お誕生おめでとう

元山	莉緒さん	(保護者・元山博三)
小田	勇心さん	(同・小田裕明)
川下	粹さん	(同・川下晉)
溜畠	優羽梨さん	(同・溜畠憲吾)
南	香英良さん	(同・南光昭)

お悔やみ申し上げます

仁添	隆三様	(85歳)
盛	初雄様	(35歳)
納	廣利様	(83歳)
森山	初子様	(54歳)
國副	正勝様	(32歳)

香典返しお礼

勝島保津江様	(故勝島清市)
仁添	チワ様 (故仁添隆三)
納	シゲ様 (故納廣利)
森山	悦子様 (故森山初子)
國副	喜代香様 (故國副正勝)

ご寄付お礼

玉井美津子様	(大阪府)
南孝夫様	(山口県)
宮田賢種様	(奄美市)

ふるさと納税お礼

山田	未廣様 (愛知県)
梅崎	義人様 (東京都)
向井	正則様 (奄美市)

こせきの窓

(5月1日) 現在

人口	1,772人
男女	832人
世帯	940人
	901戸

発行・編集 大和村役場総務企画課

〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100番地

TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161

<http://www.vill.yamato.lg.jp>

バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。
それ以外の方は直接URL (<http://www.vill.yamato.lg.jp/l/>) を入力してアクセスしてください。